

平成16年3月12日
中国電力株式会社

立体地図システムの導入について

当社は、このたび、お客さまサービスの向上と地域貢献の観点から、アルケメディア株式会社(本社:青森県青森市, 代表取締役社長:マーク・コーバー)製の立体地図システムを導入することとしました。

当システムは、従来二次元表示であった地図を、衛星画像や航空写真を使用した三次元の立体地図として表示するもので、地図上をフライトシミュレータのように、自由な視点で飛び回り移動することが可能になります。

当社は、ホームページの事業所や発電所の紹介にまず導入し、よりわかりやすい、親しみやすいホームページを目指してまいります。

また、中国経済連合会のご協力をいただき、学校や自治体などに対しインターネットを通じて当システムを自由にご利用いただく予定です。

今後、中国電力グループとアルケメディア株式会社は、将来のアライアンスも視野に入れ、当システムの展開を検討していきます。

1. 当社ホームページでの活用

当社ホームページの事業所や発電所の紹介に活用します。導入時期は、4月中旬を予定しています。

今後、他のコーナーでの活用についても検討してまいります。

2. 学校や自治体などへのシステム提供

学校や自治体などに立体地図システムの基本部分を提供します。学校では、社会科・理科授業などにおける地理や自然環境の学習教材として、また、自治体では施設案内などでご活用いただけるものと考えています。

なお、利用ニーズに応じ、道路、鉄道、建物など、航空写真データやCGデータを追加することにより、立体地図を充実させることができます。(※)

(※) 株式会社中国新聞サービスセンターのご協力をいただき、同社撮影の広島市近郊の航空写真はすでに登録しています。

以上